

城北中学校の考える「学びの変革」とは？

「学びの変革」とは、「めざす子どもの姿」を実現させるために、今までの取組を見直し、改善を繰り返していくことだと考えます。

「学びの変革」には終わりがありません。いくつかの方法論や実践例はありますが、決まった型がある訳ではありません。

「学びの変革」は、これから現場の先生方と子どもたちで創り上げていくものなのです！！

① 教師のための変革？ 生徒のための変革？ 学校のための変革？

「教師が変われば、生徒が変わる。生徒が変われば、学校が変わる。学校が変われば、地域が変わる。」もしこの通りであるならば、「学びの変革」は、教師のためでもあるし、生徒のためでもあるし、学校のためでもあるといえる。そして、変革を起こすのは、まず教師からである。

② なぜ今、「学びの変革」なの？

～ 広島版「学びの変革」アクション・プラン より ～

<背景>

- グローバル化の進展などにより、あらゆる資源が国境を越えて行き交い、社会経済システムから一人一人の日常生活に至る広範な分野に影響
- 一方で、少子化の影響により、広島県の成長・発展を支える人材の数が減少

<つまり・・・>

グローバル化の進展や生産年齢人口が減少していく中で、「ピンチ」を「チャンス」に替えていくためには、「地域の成長・発展を支える人材」から「世界を舞台に活躍する人材」まで、厚みのある人材層の形成が不可欠

<広島県の育成すべき人材像>

広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って「広島」、「日本」を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値（イノベーション）を生み出すことのできる人材

③ 「学びの変革」でなにが変わるの？なにを変えたいの？

「これまでの教育」 (コンテンツベース)

「何を知っているか」を重視

「結果」を重視

受動的な学び

自主性を育てる

(決められたことを進んでやる)

+

「
学びの
変革」

=

「これからの教育」 (コンピテンシーベース)

「何ができるか」を重視

「過程」も重視

能動的な学び

主体性を育てる

(自ら考え、判断し、行動する)